

# 会議録

## 1 附属機関の名称

犬山市道の駅整備検討委員会（第2回）

## 2 開催日時

令和元年8月2日（金） 午後2時00分から午後3時40分まで

## 3 開催場所

犬山市役所本庁舎2階 205会議室

## 4 出席者

### (1) 委員

#### ア 学識経験者

嶋田 喜昭 （大同大学工学部）

峯岸 信哉 （名古屋経済大学経済学部）

#### イ 専門知識を有する団体に所属する者

伊庭 良知 （一般社団法人国土政策研究会）

正木 朗 （犬山商工会議所）

松山 宗司 （愛知北農業協同組合）

中田 哲夫 （犬山市観光協会）

大澤 渡 （犬山市特産品協会）

松田 一雄 （あいち防災リーダー会犬山）

#### ウ 市民団体等に所属する者

小川 孝 （市民代表）

飯坂 正 （市民代表）

佐曾利 吏佐 （市民代表）

### (2) 執行機関

都市整備部 部長 光清 毅

都市計画課（事務局） 課長 森川 圭二

同 主幹 千賀 敬造

同 課長補佐 高木 誠太

同 統括主査 川村 和哉

同 主査補 服部 典幸

### (3) オブザーバー

清水 敬太 （国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所）

加藤 敬 （愛知県建設局道路維持課）

前田 則孝 （愛知県一宮建設事務所）

郷原 博文 (愛知県犬山警察署)

5 議題

1. 会長あいさつ

2. 議題

(1) 道の駅整備検討委員会における検討内容及びスケジュール (案)

(2) 道の駅について

(3) 計画地における位置づけの整理

(4) 敷地条件の整理

(5) 整備コンセプト (案)

3. その他

6 傍聴人の数

6人

7 内容

事務局

大変長らくお待たせいたしました。

本日は、お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございます。

定例の少し前ではありますが、皆様、お揃いになりましたので、ただ今より、第2回犬山市道の駅整備検討委員会を開催させていただきます。

進行は、事務局の都市計画課長の森川が務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

開会に先立ちまして、お手元にお配りしてあります資料のご確認をお願いいたします。まず、本日の委員会の次第、座席表、第1回委員会会議録、「委員会における検討内容スケジュール (案)」、追加資料「計画地における位置づけの整理」、「敷地条件の整理」、また、本日、ご審議いただくため、先に配布しました資料について、ご確認をお願いします。不足等がございましたら、挙手にてお知らせいただければ、お渡しいたします。よろしいでしょうか。

(資料確認)

事務局

それでは、開会にあたり、嶋田会長にご挨拶をお願いします。

嶋田会長

(あいさつ)

事務局

ありがとうございました。

議題に入ります前に、本日の委員及びオブザーバーの出席につきまして、ご報告をさせていただきます。本日は、委員全員の出席をいただいています。

す。また、オブザーバーとしまして、国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所、計画課長の清水様、随同行の水谷様、愛知県建設局道路維持課、課長補佐の加藤様、随同行の吉田様、愛知県一宮建設事務所総務課、課長補佐の前田様、愛知県犬山警察署、交通課主任の郷原様にご出席いただいています。

それでは、次第に従いまして、ただ今より、議題に入らせていただきます。

なお、犬山市道の駅整備検討委員会規則第4条第2項に基づき、会長は会議の議長となっておりますので、以後の進行については、嶋田会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

嶋田会長

それでは、よろしくお願いいたします。

先ほど事務局から報告がありましたように、本日の委員の出席者は11名です。委員の過半数が出席していますので、犬山市道の駅整備検討委員会規則第4条第3項により、会議が成立していることを報告します。

会議を始める前に、犬山市附属機関の公開に関する要綱第5条第2項で、会議録を作成し、議長が指名した委員2名がこれに署名すると定められていますので、私から署名者を指名させていただきます。

本日の委員会の署名者は、正木委員、松山委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。なお、同要綱第4条第1項により、本委員会は公開で審議を行い、この会議録は、後日、犬山市のホームページ上で公開させていただきます。また、本日は6名の方が傍聴することとなっています。傍聴者の方々は、これより入場していただきますので、よろしくお願いいたします。

(傍聴者入場)

嶋田会長

それでは、会議に入ります。お手元の次第をご覧ください。本日の議題は、(1)から(5)まで、5件となっています。まずは「(1)道の駅整備検討委員会における検討内容及びスケジュール(案)」について、事務局に説明を求めます。

事務局

(資料に沿って説明)

嶋田会長

ありがとうございました。

検討内容とスケジュール(案)ということですが、いかがでしょうか。何かご質問、ご意見がございますか。もし無ければ、お認めいただいたとして、次の議案に参りたいと思います。

では、「(2)道の駅について」ということで、事務局に説明を求めます。

事務局

議題(2)から(5)まで、まとめて説明させていただいてもよろしいで

しょうか。

嶋田会長

「(2) 道の駅について」から「(5) 整備コンセプト (案)」までですね。課題の整理ということで共通する点があると思いますので、一括で説明をお願いします。

事務局

(資料に沿って説明)

嶋田会長

ありがとうございました。ただ今、議題(2)から(5)まで、一括で説明がありました。本日は、特に整備コンセプト(案)について審議をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

何か、ご質問、ご意見はありますか。

伊庭委員

国が求めている「道の駅」は、道路交通の円滑化を進めるための一つの施設として非常に重要ですが、市町村からみると、「道の駅」にトイレがあり、駐車場や休憩所もあることで、大体の利用者はトイレを利用するだけとなり、基本的には迷惑な施設です。それを利用しながら、市が、そこへ集まった人たちをどう利用するか、「道の駅」にどれだけお金を落としてくれるかということが重要だと思います。また、犬山というものを、来た方に必ず印象付けていかなければならない。そういった観光客向けの「道の駅」というものは、少し整理をされたほうがよいと思います。国が求めている駐車場、トイレ、休憩、情報発信という4つの施設は、必ず整備するものなので、犬山としての「道の駅」はどのようなものであるか、という議論に集中したほうが良いのではないかと思います。既設の「道の駅」も、大部分はお金が落ちず、トイレだけ使われ下水道代はかかる、ということになっており、なんとかしなければ、という議論が多い。

嶋田会長

そうならないようにしないといけません。

他に何かご意見、ご質問はありますか。

正木委員

資料の16ページ、「エリアに求める役割」に「ハブ・ネットワーク」と書いてありますが、具体的にはどのようなイメージでしょうか。

事務局

「道の駅」の計画地は、国道41号の沿道で、非常に交通量が多い場所になります。また、犬山市に車で来ていただく方には非常に利用しやすい場所ということになりますので、まずは、ここに来ていただいた方に対して、犬山市の観光施設、例えば5ページの方に載せていますように、犬山市内の様々な観光レクリエーションの資源を案内できるような場所というような「ハブ」、拠点と言うまでもなく、そこを通じてご案内できるようなネット

ワークが構築できればと考えています。

正木委員           ここを拠点として、ということですが、既に、犬山城から市内に案内することはやっています。そこの連携、役割分担はどのように整理されているのでしょうか。

事務局            現在は、犬山城を目的とする方、モンキーパークを目的とする方、リトルワールドを目的とする方、と言ったような、それぞれ目的をもって犬山に来ていただいているというような状況だと思っています。例えば、「道の駅」を目的として来ていただける方もいらっしゃると思います。そういった方に対して、他にもこういった場所がありますと言うようなことを案内できれば、それぞれの施設との連携ができると考えています。そういった観点で、観光案内できるような場所になればと考えています。

正木委員           車やバスなどを利用して来られた観光客のハブ・ネットワークということですね。歩いてこられる方や電車の方は別にして。

嶋田会長           そういう位置づけだと思います。例えば、電車で来る方もいます。そういうときは、駅にハブみたいなものがあると良いですね。今は、どういった状況でしょうか。

事務局            観光案内所は、犬山駅にあります。

嶋田会長           それも一つのハブですよ。車で来られた方のハブとして「道の駅」を考えたい、そういうイメージですね。

事務局            そのようなイメージです。

嶋田会長           他にいかがでしょうか。

中田委員           観光協会として、実際に観光客をお迎えしている立場から、少しお話させていただきます。

まず、この「道の駅」の位置が道路の南側であり、車の移動方向で言うと、北から南へ帰る人の流れになります。そうすると、観光案内には、少し使いにくい位置だと思います。名古屋から来た方が、何かの方法で道路を右折できれば良いのですが、現状では、横断するのはなかなか難しいと思いました。また、少し扶桑の方に行きますと、今、国道41号から直接犬山城の下まで行く道が繋がり、城下町の方は、ほとんどがこの道を通ってしまいます。観光客のためにこの施設を使う、もしくは観光客をここに誘致しようと

すると、少し大きな話になりますが、今、犬山城の下にあるキャッスルパーキング、市営駐車場がありますが、その駐車場をやめて、ここからパークアンドライドで市内に運ぶとすると、観光客はかなりこちらに来ます。また、現在、観光の中で、犬山に不足しているものは、もちろんホテルも不足していますが、団体バスのお客さんがご飯を食べるところがありません。バスでいらした30人から50人の方が、同じ時間に一堂に食べる場所がここにできると、観光協会としてはものすごく誘客しやすい。現在、市内でそのような30人から50人の方が一堂に食事できる場所は、名鉄犬山ホテルや羽黒のローレライなど、限られたところになります。ご承知のように、ホテルが今月いっぱい閉まるとなると、バスでみえたお客さんは、他でご飯を食べてくることになります。犬山に一時間くらい滞在され、他へ行って食事をし、他の観光地へ周るということになります。「道の駅」で観光客をターゲットにした場合は、そういう考え方を盛り込んでいただくとよいと思います。

嶋田会長

ありがとうございます。

南方面からの観光客に、なんとか寄っていただくと。

中田委員

高山や白川郷に向かうお客さんは、東海北陸自動車道の方に行ってしまう。ここのお客さんはどこから来るかという、下呂の帰りなど、下道を使う方しかいないと思います。観光客の利用より、どちらかという通勤の方の利用になるのではないかと思います。観光客を引っ張ろうとすると、少し大きい仕掛けが必要だと思います。

嶋田会長

ありがとうございます。事務局はいかがでしょうか。そういうご提案をいただきましたが。

事務局

ありがとうございます。そのような課題に対して、「道の駅」としてどういったものができるか、ということも含めて、今後の検討の参考にさせていただきます。

嶋田会長

よろしく願いいたします。他にいかがでしょうか。

飯坂委員

先ほど、伊庭委員からもお話しがありましたが、「道の駅」に対する目標、こうあるべきだということはあると思いますが、私は特に福祉ということに関心があります。この前からいろいろなところで、福祉というと子どもだけが出てくるのですが、福祉は子ども福祉もありますし、高齢者福祉もありますし、障がい者福祉もあります。福祉というジャンルは、この3つはセットだと思います。やはり、福祉は子ども、高齢者、障がい者を対象にし

ないと、文書化していくにはあまりふさわしくないのではないかと思います。特に、犬山の場合は、先程も説明があったように、高齢者率が高くなっています。地域に密着した「道の駅」というものを期待していますので、やはり、高齢者に優しい、高齢者が利用しやすいような「道の駅」、高齢者や障がい者という文言も、計画に入れておいていただきたいと思います。

あともう一つは、今日の資料の平成17年から27年の交通量のデータを見てみますと、約10%減っています。この「道の駅」は、将来的には車社会を想定した計画ですから、大きな問題だと思しますので、国道41号の交通量の見通しをどのように考察しているのか、この延長線上で見ているのか、どのように分析しているのか、お聞きしたいと思います。

嶋田会長

2点いただきました。まず、福祉に関して、高齢者、障がい者もあるということ。それから、交通量の方は、減っていくことに対してどう考えているのか。

事務局

まず1点目の福祉ですが、もちろん、高齢者福祉、障がい者福祉も、福祉の中の重要な内容と考えています。その部分にも配慮した形で、検討させていただきます。子ども、高齢者、障がい者の方々が利用しやすい施設を目指す必要がある、と整理させていただきます。

2点目の交通量は、平成17年から27年まで交通量が徐々に減ってきていますが、減っても3万7千台で、交通量としては非常に多いと判断しており、交通量に相当するような休憩施設は、必要になると思っています。今後の推移も想定する必要はありますが、名濃バイパスの6車線化の交通計画量は増えると想定されていますので、そのあたりを含めて、必要台数などを計算させていただきます。もちろん、寂れた「道の駅」にならないように、利用者が多く利用できるような「道の駅」になるように検討を進めていきたいと考えています。

嶋田会長

将来的に6車線化されるということで、今日、配布していただいた資料の下の方には、1日あたり54,300台と記載されています。この通りいかどうか、もちろんわかりませんが、現状よりやや増えそうな予測になっています。

観測地点を見ると、平成27年は地点が違いますが、この地点の観測結果がないのでしょうか。

事務局

観測地点に変更があり、平成17年、22年は橋爪東で調査されていますが、平成27年はこの場所から移動しています。そのため、移動した場所から計画地までの交通の流れを調整した数値ということになります。

嶋田会長 　　だから推計値ということですね。わかりました。ありがとうございました。その他、いかがですか。

佐曾利委員 　　16ページの機能の一例、休憩機能のところですが、親同士の会話の中で、「道の駅」を使うときに、車中泊として利用できる場所を探して、長距離移動を楽しむという話が最近増えてきています。ただ、車中泊もいろいろマナー等があり、最近、使用できないですとうたわれているところもあれば、逆に1泊2千円くらいの有料で使える場所も出てきて、皆さん、それをリサーチしたうえで、家族で、大きな車で出かけるような話が出たりしています。犬山の「道の駅」は、犬山を目的に来られる家族ももちろんいると思いますが、もう少し長居したいなと思ったときに、当日でも多少、1日くらいより道ができるような、そのようなスペースがあると、無料ではなくて、有料でも用意されていたりすると魅力的な寄り道につながるのかなと思います。名古屋の方から来る友人も、一気に目的地に行かないとその日のうちに着かないというときに、もしちょっと気軽に寄り道ができるのであれば、犬山良いよね、という話をよく聞くので、そういう選択肢の一つとして。

嶋田会長 　　最近、キャンピングカーみたいものが増えてきていますよね。

佐曾利委員 　　本格的なアウトドアまではいかないですが、シャワーが使えるなど、設備が使えるところだと、家族でも行きやすいので、という意見を聞いてきました。選択肢の一つとしていただければと思います。

嶋田会長 　　良いご提案と思います。事務局、何かございますか。

事務局 　　駐車場と言いましても、道路利用者のための駐車場ではなくて、どちらかというと地域振興施設のほうに該当する駐車場になってくるかと思えます。いただいたご意見は、今後の施設検討の中で、参考意見としてとりあげさせていただきたいと思えます。

嶋田会長 　　伊庭さん、何か事例等をご存知でしょうか。

伊庭委員 　　いろいろと計画はあるのですが、なかなか実現しません。1年中を通して利用客が見込めなくて、経営的には芳しくない。実は80km置きにネットワークを作ろうという計画があり、国土政策研究会の中にプロジェクトチームが立ち上がっているのですが、なかなか担ってくれる事業者さんが付かないです。ただ、将来的には、あり得るかもしれません。

嶋田会長 　　結構良い話です。この検討会の中では可能性として検討していきたいで

すね。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

伊庭委員

データをいただいた中で、非常にショッキングだったのが、お母さん達のアンケートで、子どもの安全に関することがものすごく多いです。自治体のアンケートとしては異常に多いです。犬山市が、子どもの安全にどれだけ取り組まれているのか、少し知りたいと思います。学校に行っている間は学校が見てくれる、お母さんに引き渡したあとはお母さんが、その間の学童保育のこともありまして、学童保育の状況はどうかということと、それと雨の日の遊ぶ場所はどうか、屋根付きの自由に遊べる空間など。この話は、この場で語るには少し重すぎる話題なので、別でやっていただきたいですが。犬山全体で、そのような施設の配置計画のようなものを含めて考えなければいけないので、この委員会では少し重すぎると感じます。

嶋田会長

事務局、いかがでしょう。

事務局

このアンケート自体が、そのような計画をたてるためのアンケート調査になっており、子育て世代の方々を対象に調査しているものです。

伊庭委員

この地域に要望はありますか。

事務局

この地域に限ったアンケートではなく、犬山市全体を対象にしています。

飯坂委員

今の話に関連しますが、犬山は、中央児童館もなくなります。老人クラブ、長寿館なども無くなったりしています。いろいろと各団体から、そういう要望は、この「道の駅」に対して、非常に出てきます。そういう意味では、行政のアンケートが、子どもたち、障がい者、高齢者に幅広く要求を聞くようなアンケートになるだろうと期待はしております。

伊庭委員

飯坂委員が言われましたように、我々は、老障児、3つをパックにしているかないといけない。たぶん、施設も、子どもが使う時間帯と高齢者が使う時間帯は完全に分かれているので、そういう人たちの交流も含めて、同じ施設で同じようなことが、老障児、まとめてできるような形が良いと思います。でもそれはまた別の議論ですよ。

嶋田会長

機能として考えておくことは良いことと思います。  
ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

松田委員

本市の防災施設について、45カ所の避難所、7カ所の広域避難場所という記載がありますが、今年5月に発表された防災ハンドブックの内容と、だ

いぶ違っていると思います。一度、確認して、また皆さんに発表していただきたいと思います。

それからもう1点、今後の話で出てくると思いますが、五郎丸東の交差点、南北道路ですが、ここはもっと道を太くすることは可能ですか。このエリアの中で、ですが。

事務局

1点目につきましては、大変失礼いたしました。再度、確認させていただき、適切な表現を示させていただきたいと思います。

2点目につきましては、追加資料を見ていただくと、五郎丸東の交差点、ちょうど国道41号の高架から降りてくるところの交差点あたりです。こちらの南北の道路、南側の道路ですね。こちらが広がるのかというような話が。

松田委員

そこではなく、南北を通っている市道線です。

事務局

五郎丸東から南側ですね。

松田委員

市道としてそのまま残されるのか、それともエリアの中に取り込んで、道の形態が変わるのか、というような問題と、将来、五郎丸地区が要求されている駅の構想に対して、この道は変わるということなのかということです。

事務局

この道がどうなるか、ということに関しましては、今後の「道の駅」としてどう施設を配置するか、ということに、非常に深く関わってくると思います。どう変わるか、ということにつきましては、今後の議論の中で検討されていくものと考えています。

松田委員

そうすると、エリア内に入っていないと思いますが、前原街道のところに駐車場用地など、エリアから抜けた分があると思いますが、そういうところは、もう、この構想の中には取り込まれないと認識するのか、そこも含めて、整備できるようにするのか。

事務局

もちろん、配置を検討させていただく中で、この南側はどこまで入るかというところもあります。ただ、現状としましては、商業集積ラインという形で、「道の駅」とは少し違う考え方をさせていただいている場所になります。4ページをご覧くださいますと、前回、説明をさせていただいた基本構想の図があります。この図の中の一番南側に商業集積ラインが横に入っていると思いますが、これが、道路でいきますと、五郎丸前原線になっております。この五郎丸前原線沿いにつきましては、商業集積ラインと位置づけさせていただいていますので、市としては、ここの部分ではなく国道41号に

近いほうで、「道の駅」を検討させていただきたいと考えています。

松田委員

極論を言いますと、「道の駅」へ入るのは、五郎丸東の交差点から侵入するのがメインですと、他のところはありませんよというような位置付けですね。

事務局

入り方はいろいろあると思います。例えば、名古屋から来る場合に、五郎丸交番のところで曲がって、東側から入る可能性もあるかもしれませんが、おっしゃられるように五郎丸東のところで曲がって入る可能性もあります。それにつきましては、今後の議論の中で、検討していきたいと考えておりますので、この場でどうなるかというのは、まだ決定していないということです。

松田委員

ただ、要望的には、一方向で入ってくるのではなくて、東に大型車が抜けるという、そういうような方向づけを考えないと、防災上の論点で言うときには、乗用車だけだったらすれ違えるが、大型が来たらすれ違えませんが、そういうような拠点だったら、やめてしまえという話になってきますので、考慮していただきたいと思います。

嶋田会長

関連して質問させて欲しいのですが、五郎丸東の信号というのは、元々、なぜ、付いたのでしょうか。必要なく見えます。市道でありながら、これはほとんど農道ですよ。なぜ、ここに信号交差点ができたのか。しかも、次の信号まで短いですよ。

事務局

経緯については、確認していません。

嶋田会長

わかりました。少し疑問に思っただけです。他にいかがでしょうか。

郷原オブザーバー

一つ聞いても良いですか。この計画地は、確定でしょうか。素人考えでいくと、先ほどの観光という話だと、清水 I C のほうがよほど利用しやすいと考えますが。リトルワールドや明治村に行きやすいです。

事務局

場所につきましては、基本構想の計画の中でも、おおまかには検討させていただきました。3か所くらい検討させていただき、整備のし易さなど、色々な面のメリットを考えると、この場所が適切ではないかと整理をさせていただいたところです。この議論の中で、範囲等については決めていきたいと考えております。エリアとしては決まっていますが、大きさなどに関しては、決めていません。

郷原 オブザーバー      もう1点いいですか。今日いただいた資料の「敷地条件の整理」で、41号が片側3車線、将来形となっています。私が把握している範囲では、五郎丸の高架までは3車線で、こちら側は片側2車線のままと聞いていますが、このような計画もあるのですか。

事務局      失礼しました。五郎丸の交差点までが3車線で、そこから先は2車線となります。

嶋田会長      五郎丸交番前までですか。

事務局      五郎丸の高架橋のところまでです。犬山大橋線との交差点までです。

嶋田会長      先程の五郎丸東の交差点のところは、現状のままということになるのですね。  
他に何かご質問・ご意見はありますか。  
本日は、いろいろな計画地、敷地条件の整理をしていただき、16ページのコンセプト、ここまでこういう考え方でよろしいでしょうか。再度、ご確認いただきたいと思います。

伊庭委員      ここ五郎丸地区は、名鉄の駅の構想もあり、犬山の中で中核市街地として位置付けていくと、そこに「道の駅」があるのが適正かどうかという議論が一つあると思います。「道の駅」というのは、観光客など、車で来られる人達もたくさんいて、先ほどの子どもの話ではないですが、子どもの安全などを一緒に考えるとすると、「道の駅」とセットにするというのは、なかなか難しい部分があります。観光客と市民間の交流などもセットにすると、なかなか難しいです。あまり、子どもをうろうろさせたくないとか、いろいろなことがあったりします。  
市街地全体の構想の中で、おそらく既に議論されて、このようになっているだろうと思いますが、少し難しいことが出てくるような気がしています。先ほどの「ハブ」もそうですが、市内観光のネットワークとは、アクセスの様々な考え方で、よそから来た人がここで一旦降りて、時間を過ごす、乗り換えて市内観光をするというような形がハブだと思っています。京都駅前や名古屋駅前のように、降りて、観光バスなどに乗って動くのがハブなのだと思います。そう考えると、結構、駐車台数があるだろうなと思ったりもします。そこに、いろいろな人が来て、市民なら大体なんとなく顔がわかることもありますが、そうじゃない方も来るので、一緒にするのはどうなのかというのを、少し議論したいとは思っています。

嶋田会長      他の委員の方はいかがでしょうか。

中田委員

観光面ですが、今、伊庭委員が言われたように、まったく私も同感です。刈谷のハイウェイオアシスは、すごく人気がありまして、あそこは観光客の方と地元の方と混在して楽しむような仕組みができています。ところが、見ていると、たまにバスは入ってきますが、バスの観光客はトイレだけ済ませて行ってしまう。なぜかという、先ほど言いましたように、決まった時間に30人、50人が一緒に食べる場所は、あの刈谷のハイウェイオアシスには無いです。個人で食べるところばかりです。そうすると、観光バスはトイレ休憩だけになってしまいます。「道の駅」の場所がある程度決まっているなら、どうすれば観光客が来るのか、地元の方が来るのか、という、そのような仕組みが必要です。通常の「道の駅」ではなく、地元の方がどうしてもここに行きたくなるような仕組み、それと、観光バスが来るような仕組みです。

それから、ハブといいますと、ちょうど駅ができるなら、わざわざ明治村とかリトルワールドに行くバスを用意しなくても、ここで車を置いて、ここから電車に乗って犬山駅へ行くと、犬山駅から明治村やリトルワールドへ行くバスは出ています。犬山駅や犬山遊園駅まで来てくれれば、歩いて城下町まで来られます。そういう意味からでも、ここはハブになりえると思います。城下町のエリアに車を絶対入れないということをやれば、この価値は上がってくると思います。

嶋田会長

福祉と観光の両立はどうでしょうか。

中田委員

福祉というのは、大変幅広いものです。子どもとお年寄りだけでなく、福祉というのは誰もが楽しく暮らしていけるというものなので、間口は広いですが、絞るといのはかなり難しいと思います。各務原のハイウェイオアシスは、そういう意味では、成功していると思います。子どもからお年寄りまで楽しめるようになっていきます。

嶋田会長

ありがとうございます。他にございますか。

佐曾利委員

先ほど、不特定多数の人たちが集まる場所でもあるところに、子どもたちが、親子で行くというのも心配ですが。実は、私は犬山育ちではないので、こちらに越してきたときに、観光客の方が普通に町を歩かれる、近所ではない方たちがたくさん歩かれる状況に、結構最初はドキドキしました。地元の方だと、当たり前のこととして育ててきており、受け入れてくださっている感じがします。ただ、先程の子育てのアンケートの中の何が安心なのかというところもあるかと思いますが、安心して子どもに「遊んでも良いよ」という場所が少ないと思います。夏場も、室内の遊戯場みたいな場所があったりしたら、犬山の親子だけではなく、近隣の親子も、そこに来られるかなと思

ったりする複雑な気持ちがあります。

嶋田会長           このあたりにそういう施設があると良い、ということですね。

佐曾利委員       今は、本当に暑いので、子ども達が一緒に遊べる場所は、なかなか限られると思っています。

嶋田会長           うまく両立すれば良いのですが。事務局は、コメントはありますか。いろいろと機能を入れ過ぎているように思えます。いろいろな機能を一気にいれようという思いはわかりますが。

事務局           機能は、一例としてあげさせていただいています。今後、この「道の駅」に対して、どういった施設が導入できるのか、というところは、次の委員会で議論していただく内容になると思っています。その前段として、今日、お聞かせいただいた内容は、次の委員会の資料に反映させていただきたいと思っています。

                  犬山市は、「道の駅」を作るにあたり、もちろん、観光面だけではなく、地域住民のための施設も必要だと考えていますし、犬山市としての課題を解決するような施設でなければいけないと思っています。そのために、今回、整理させていただいた課題から、導入する施設を検討していきたいと思っています。本日の議論と、ここにまとめたさせていただいたものも含めまして、次回、施設案などの検討に繋げていきたいと考えています。

嶋田会長           具体的な施設を検討していく上で、遡って、コンセプトの表現が変更になっても良いのでしょうか。

事務局           それは、問題ないです。

嶋田会長           委員の皆さんは、いかがでしょうか。

飯坂委員           先ほどから、「道の駅」に不特定多数の人が集まることに対して、安全面の話が出ています。私は、犬山に30数年住んでいますが、犬山の人には、わりとボランティア精神が旺盛で、スクールガードから始まって、夜回りなど、世代を超えてやっています。そういう意味では、例えば「道の駅」ができて、そのようなセキュリティの話があれば、老人クラブや婦人の会などから、ボランティア、輪番制で対応し、おそらく安全は確保されるのではないかと思います。少なくとも、国際観光都市を標榜している犬山ですから、そのあたりも考えながら、日本語のわからない人もたくさん入ってきていますし、そういうグローバル化に合ったような安全の確保というの

は、我々1市民も真剣に考えないと、こういう施設は作れないのではと思います。

嶋田会長

心強い意見をありがとうございます。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

特に無ければ、コンセプトまで、承認いただいたということにさせていただきます。ありがとうございます。

本日の議題につきましては、これですべて終了しましたが、委員の皆様から、何かご意見・ご発言はございますか。よろしいでしょうか。特になければ、これで本日の議事はすべて終了させていただきます。ご協力、ありがとうございました。

では、進行を事務局にお返しします。

事務局

嶋田会長、長時間に渡り進行していただき、ありがとうございます。

最後に、「3. その他」としまして、事務局からの連絡事項となります。本日の議事録については、作成後、皆様に郵送させていただきますので、ご確認いただきますよう、よろしく申し上げます。内容等に疑義のあるときは、追ってご案内します日時までに事務局までご連絡ください。

また、次回は、10月11日の開催を予定しています。後日、ご連絡させていただきますので、どうぞよろしく申し上げます。

これを持ちまして、第2回犬山市道の駅整備検討委員会を閉会させていただきます。長時間に渡り、ありがとうございました。